

# 日米地位協定と地方自治

沖縄の普天間小学校にヘリコプターの窓枠が落下するという事故がおきました。まかり間違えば子どもを巻き込んだ大惨事になることでした。その後も連続して不時着事故が起っています。過去には沖縄国際大学へ飛行機墜落事故をはじめオスプレイの事故等ほぼ毎年のように繰り返されています。沖縄の基地問題は軍人・軍属による事件・事故、騒音・環境問題等々様々な問題が生じています。そして、治外法権的な日米地位協定の存在がこれらの諸問題の解決への大きな障害になっています。現地沖縄ではこれらに抗議する住民が声をあげていますが、日本政府は聞く耳をもっていません。

今回の講演会は日米地位協定を地方自治の

観点から照準をあてて開催します。講師にお招きした明田川融先生は日米地位協定の研究に関しては第一人者で、事件・事故がある度にメディア等で日米地位協定の問題点を鋭く指摘し、発言しています。著書で「沖縄基地問題の歴史」「日米行政協定の政治史」などがあり、日米地位協定とはいかなるものかを沖縄の歴史から深くひも解いています。

日米地位協定は沖縄に限ったことではなく基地を抱える日本全体の問題であるとの視点が必要であるとの認識で講演会を企画しました。関係する皆様のご参加をお待ちしています。

[講演会資料代 500円 会員無料]

## 自治研センター 講演会のご案内

- 日時：2018年3月3日（土）  
14時30分～16時30分
- 会場：千葉県教育会館本館 604 会議室

### <講演 講師紹介>

明田川 融 氏  
(あけたがわ とおる)



<現職>法政大学法学部教授  
<略歴>1963年生まれ。法政大学で博士号取得。政治学。おもな著書『日米行政協定の政治史—日米地位協定研究序説』（法政大学出版社，1999）『各国間地位協定の適用に関する比較論考察』（内外出版，2003，共著）『沖縄基地問題の歴史—非武の島，戦の島』（みすず書房，2008年）『日米地位協定—その歴史と現在』（みすず書房，2017年）。おもな訳書 ジョン・ハーシー『ヒロシマ 増補版』（法政大学出版社，2003，共訳），ジョン・W・ダワー『昭和—戦争と平和の日本』（みすず書房，2010，監訳）。

★ お申込は自治研センターへ 電話 043-225-0020  
FAX 043-225-0021  
☆2月16日（金）までにお申し込み下さい

- 主催：千葉県地方自治研究センター
- 共催：自治労千葉県本部
- 後援：連 合 千 葉